

飽水管理とは

- 湛水はしないが、常に土が湿った状態を維持する方法
- 田面には水はないが、足跡の底に水が溜まっている状態
- 水がひたひたの状態



※高低差があるほ場では、水田全体に水が行き渡るよう注意してください。

期待できる効果

- 日中・夜間の地温上昇を抑制
- 猛暑が続く登熟期でも根の活力低下を防止
- 白未熟粒などの発生の抑制



一等米比率の向上が期待できる

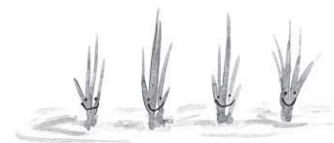


飽水管理を行うタイミング

- 登熟期
- 用水が十分に確保できず、掛け流しができないとき



このような時には飽水管理を試してみてもいかがでしょうか



※かけ流しの方が高い効果が期待できますので、可能な場合はかけ流しを優先してください。

くわしくはJA・農業改良普及センターへお問い合わせ下さい。